

教えて!



今、話題の労働時間ルール



はたらくのそばで、
ともに歩む
連合

Action!
36

今の「上限ルール」
働き過ぎを
防止できている?

「労働時間の上限ルール」は、2019年4月から順次スタート

労働時間の基本ルールは「**1日8時間、週40時間以内**」
労働者の代表と「**36（さぶろく）協定**」を結んだ上での、
残業時間の上限は「**1カ月45時間以内、年360時間以内**」です
例外として
「**臨時的な特別の事情がある場合**」に限り、特別条項を結び、
「**休日労働を含めて月100時間未満、年720時間以内**」となる

36協定とは?

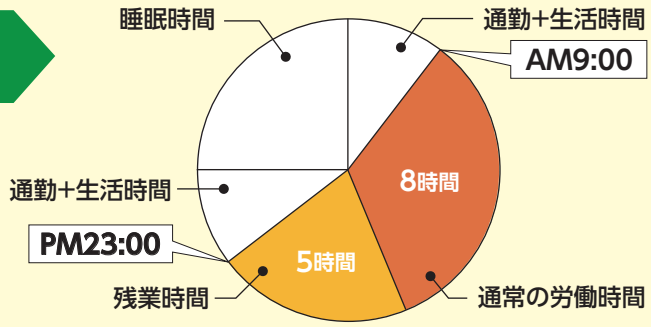


詳しくはこちら

でも、月100時間の残業は「過労死ライン」

月100時間の
残業イメージ

毎日
5時間残業が
20日間続く...

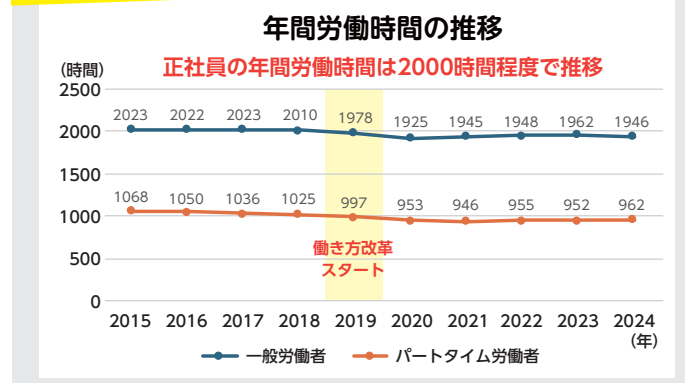


過労死や
病気等につながる
危険性が高く、
労災認定
されるかどうかの
ボーダーライン

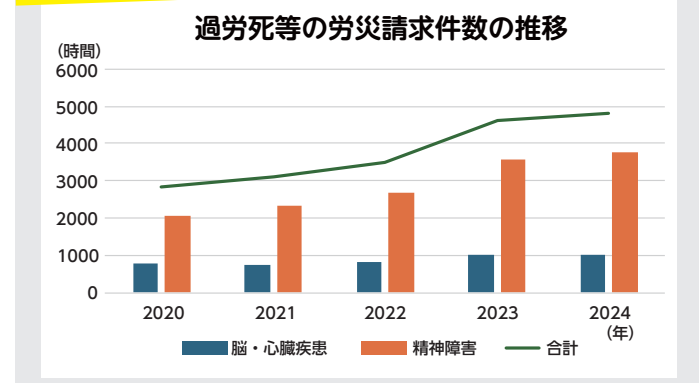


労働時間の現状をデータで確認すると...

注目ポイント① 正社員の労働時間は減っていない!

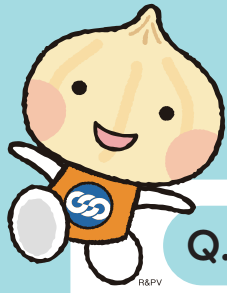


注目ポイント② 働き過ぎでの健康被害も増加が続く!



上限ルールが導入されたけど、長時間労働や過労死等はなくなっていない!

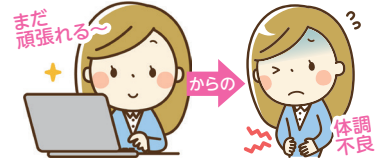
労働時間のギモンにこたえます!



労働時間ルールについて、さまざまな立場から疑問や意見が出されているけど、その中で、よく話題になっているテーマについて解説していくよ!

Q. もっと働きたいと思っている人が働けるならいいことじゃないの?

今でも時間外労働と休日労働は最大で月に100時間未満まで働くことができる仕組み。これは過労死かどうかを判断するボーダーラインと同じだよ。それに会社と労働者には力の差があるから、本当に自分の意思だけで決めるのは難しいよね。



必要な対策

労働時間の上限ルールの段階的な引き下げ！
生活時間を確保するためのインターバル規制の義務化！

Q. 収入を増やしたくて、もっと残業したい人もいるんじゃないの?



残業はあくまで上司からの指示で行うもので、収入を増やすためのものじゃないよ。残業しなくても、豊かに安心して暮らせるように賃上げを進めることが大事だよ。「残業が申請できない」「残業分の賃金が払われない」ことがないように、サービス残業をなくすことが必要だよ。

必要な対策

労働時間の適正把握の罰則付きでの義務化！

Q. 人手不足をカバーするためにたくさん働かないといけないのは仕方ないの?

人手不足を長時間労働でカバーしようとしても、疲れて健康を害したりして長続きしないよ。それよりも、女性や高齢者、障がい者など様々な事情を抱えた人がそれぞれ働きやすい環境をつくることで働ける人を増やす方が大事だよ。



必要な対策

フレックスタイム制などのさらなる活用促進！

Q. 裁量労働制の拡大を求める意見もあるけど?



裁量労働制は、働いた時間にかかわらず、あらかじめ決めた時間数を労働したものと扱う仕組み。でも、適正な運用がなされていない実態もあり、長時間労働になりがちだから、制度拡大ではなく、労使による適切な制度運用や対象者の健康管理の徹底が必要だよ。

必要な対策

裁量労働制は拡大せず、制度を適切に運用しよう！

すべての働く人のいのちと健康を守り、豊かな生活時間の確保を実現するため、「働き方改革」のさらなる前進に向けた法改正を実現しよう！

